

■折り加工:A4の1/3仕上がり巻き三つ折り_左開き 中面 (紙のサイズ 仕上がりサイズ) 210×297mm 100×210mm)

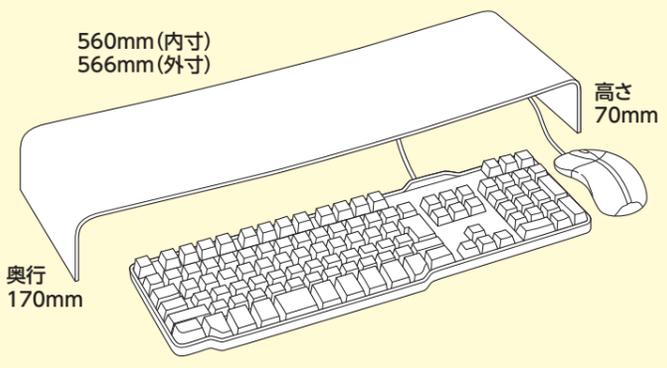


USB 給電型キーボード除菌器 JOKIN99 M-560

— 凄い3つのポイント —

- point 01** 凸凹の影響を受けにくい=広い方射角
 発光ランプ6本を配置することにより、点光源のLEDと異なり広い放射角で拡散発光し、凸凹があるものでも、影がでにくく、安定した除菌が可能。
- point 02** USB直接給電=省エネタイプ
 UVC 領域ではLEDよりも発光効率高く、省エネ型のため、USB2.0 でも対応可能!
- point 03** 人体への安全性=弱い紫外線の長時間照射
 より安全の為に20分のオートオフ機能付き。

ランプ寿命 約1万時間で30%の発光低減が確認されています。1台20分で約3万回の通常使用が可能です。



ご注意ください 深紫外線を直接覗いたり、見ることは禁止。人の顔に向けない。

USB 給電型キーボード除菌器の使い方

USB直接給電型
プラズマUVC ランプ除菌器
日本製
MADE IN JAPAN

JOKIN99 M-560

JOKIN99-M560 の除菌試験

食品衛生登録検査機関 検査施設 生活科学センター

試験報告書

令和3年6月30日

- 依頼者 株式会社 光製作所
- 試験目的 「JOKIN99 M-560」の大腸菌、黄色ブドウ球菌に対する除菌効果の検討。
- 試験方法
 試験菌株: Escherichia coli NBRC 3972, Staphylococcus aureus ATCC 6538
 使用培地: トリプトソーヤブイオン培地 (SCD ブイオン培地) (日水製薬)
 トリプトソーヤ寒天培地 (SCD 寒天培地) (日水製薬)
 各試験菌株をSCD ブイオン培地に継代培養後、SCD 寒天培地へ接種して35°C、24時間培養を行った。その菌体を滅菌生理食塩水に懸濁させ、試験菌液とした。作製した各試験菌液をSCD 寒天培地に接種した。これらの寒天培地に対して「JOKIN99 M-560」を用いて10分間及び20分間のUV照射を行った。未処理のものを対照(0分間)とし、これらを35°C、24時間の培養を行った後、コロニーを確認した。また、接種した試験菌液の菌数を確認するため、滅菌生理食塩水で適宜希釈したものをSCD 寒天培地に接種し、35°C、24時間培養を行い、コロニーを計数した。
- 試験結果
 下の図1~2に示した。計数したコロニー数は下表のとおりであった。なお、照射時間0分間のコロニー数として接種した試験菌液の菌数を記載した。

	UV 照射時間とコロニー数		
	0分	10分	20分
大腸菌	1.1×10 ⁷	5	2
黄色ブドウ球菌	6.7×10 ⁷	10	2

(単位:CFU)

図1 大腸菌に対する除菌効果

図2 黄色ブドウ球菌に対する除菌効果

(一社) 愛知県薬剤師会

地